

あすから定期演奏会／札幌・キタラ

——「リトミカ・オスティナータ」はどんな曲でしょう。「血わき肉躍るエネルギーに満ち、最後まで有無を言わず引き付ける力のある曲。一方で、東洋的な哀愁もある。伊福部さんは子供時代、アイヌ民族など土着の人の音楽や踊りに接したと聞いています。そうしてインスピレーションをはぐくんだのでしょう。その「根っこ」を保ちながら、ヨーロッパのオーケストラの法則にのっとって国際的に作曲活動を行った。表現力豊かな人でした」

——以前に他のオーケストラでも横山さんと共演でこの曲を演奏しましたね。「この曲を弾ける人はなか

札幌

指揮・飯守泰次郎 独奏・横山幸雄

東洋的な哀愁引き込む力

伊福部の魅力ピアノで



「もっとアクセントを」「跳ねるように」。――「リトミカ・オスティナータ」のリハーサルに熱を入れる飯守泰次郎＝20日、札幌芸術の森

かないない。横山さんは超絶技巧を完全にマスターしていて、一方で表現力も非常に豊か。ウィルトゥオーゾ(演奏の名人)です」

——今回は、ほかにサンサインスの「交響曲第三番」、ワグナーの歌劇『さまよえるオランダ人』序曲。珍しいプログラムです。

「フランスのエスプリ、ドイツ・ロマン派、そして現代の日本とバラエティーに富んだプログラム。交響曲第三番はオルガンのすばささを感じられます。『さまよえるオランダ人』はワグナーが若

い時、乗っていた船が大変な嵐に遭い、その体験を生かして書いた作品。ワグナーの一生がばつと現れた曲です。ちょうどベートーベンの『エロイカ』のように。大いに楽しんでください」

◇ 二十三日は午後七時、二十四日は同三時から、札幌・キタラ。演奏会前のロビーコンサートは、カスターネットと弦楽五重奏でフアリヤの「恋は魔術師」より「火祭りの踊り」、藤田崇文編曲などを演奏する。問い合わせは札幌事務局 ☎011-520-1771へ。

伊福部昭 1914年(大正3年)、釧路町(現釧路市)生まれ。北大農学部を卒業後、林務官として働きながら発表した「日本狂詩曲」(35年)で「チエレフニ賞」1位入賞。上京後は東京音楽学校(現東京芸大)で教壇に立ち、「ゴジラ」(ビ

ルマの堅琴カキコ」など映画音楽も数多く手がけた。映画音楽のほか、「交響詩話」「シンフォニア・タフカラ」などの管弦楽曲、「日本狂詩曲」(35年)で「チエレフニ賞」1位入賞。上京後は東京音楽学校(現東京芸大)で教壇に立ち、「ゴジラ」(ビ